

卓 話

平成 23 年 3 月 22 日

『キャンバス寸法について』

岐阜中ロータリークラブ 加藤義明 会員

油絵用（油額）の寸法は、世界中同じではなく、日本の寸法も日本独自の寸法を使っている。現在、世界で使用されている寸法を大別すると、メートル法を使用しているフランスなど欧州と、インチを使用しているアメリカ、カナダなどの二系列に分けられる。日本の油絵のキャンバス寸法はフランスの寸法を基本としている。



しかし、明治年間にフランスの規格を参考にセンチを尺寸法に換算して端数を四捨五入し、旧規格を作ったが、昭和 33 年尺貫法廃止に伴い、一尺を 30.3cm で換算したため、フランスの寸法とは異なってきている。

フランス寸法の規格の名称は、F（人物）、P（風景）、M（海面）の三種を基準としている。その基本は、古代ギリシャ時代から伝わっているとされ、最も美しい形といわれる黄金率より算出されている。アメリカの寸法は、至極合理的で、ほぼ 2 インチ刻みで規格寸法ができており、縦横各一辺の延寸法で表示されている。また、2 インチ刻みの寸法 2 本 1 組で販売されていて、画家が自由に長手と短手を選択できる。

近年に至って、国際的に共通のキャンバス寸法を、フランス寸法を基に制定する動きが出てきている。